

株式会社モリレイ創業100周年記念特別講演会の様子



記念撮影

主催者あいさつ

岩手日報 2013年(平成25年)7月1日(月曜日)

盛岡・東北

地域の話題情報をお知らせ

本社 019(653)4111
 盛岡支局 019(672)2800
 二戸支局 0195(23)8080
 岩手支局 0195(62)3249
 ハルニチ支局 0195(70)1507

盛岡・東北

地域の話題情報をお知らせ

盛岡市立 震災支援テーマ展

震災被災地の子どもたちを支援するイベント「こども☆ひかり」が6月29、30日、盛岡市上田の県立博物館で開催された。光をテーマにしたさまざまな展示を訪れた多くの親子連れを魅了した。

同博物館の企画展「こども☆ひかり」は「ワニやヒトデ」を初めて触った。さらさらの光るチ

光る生き物輝く瞳

盛岡市立 震災支援テーマ展

震災被災地の子どもたちを支援するイベント「こども☆ひかり」が6月29、30日、盛岡市上田の県立博物館で開催された。光をテーマにしたさまざまな展示を訪れた多くの親子連れを魅了した。

同博物館の企画展「こども☆ひかり」は「ワニやヒトデ」を初めて触った。さらさらの光るチ

心も包んで 笹まき作り

一戸・鳥越地区で祭り

一戸町鳥越の鳥越もみじ交遊舎(柴田三男館長)は30日、同町で竹細工・笹まき祭りを開いた。同地区に根づく伝統文化の魅力を発信し、県内外からの来場者でにぎわった。ベテランの竹細工職

人による実演コーナーがあった。笹まき作り講習会では、同地区の町食生活改善推進員らが指導。家族連れは大きなササニ戸市野野の主婦高屋

の葉をクルミ入りの餅を包み、イクサで結ぶ作業に挑戦した。家族4人で参加した

挑戦する心 岡 大切さ訴え 盛 乙武洋匡さん講演

天市町流通センター 廣3丁目の業務用食品 卸売業モリレイ(岡村社長)は6月29日、盛岡市盛岡駅西通の市民

文化ホールで、ベストセラー「五体不満足」の筆者乙武洋匡さん37歳の講演会を開いた。同社の創立100周年を記念して開催。乙武さんは「チャレンジ精神を忘れずに」と題して講演した。

「聞き役でなく、生まれた場所や時代などを言いつけて、挑戦する前に逃げた。このことはもういい」と力説する。約1400人の来場者から大きな拍手が送られた。北上市稲瀬町の会社員菊池貴子(51)は「すごく説得力があった。私たちは楽な道を選んでしまいがちだが、チャレンジすることの大切さをあらためて感じた」と共感していた。

「言い訳をして逃げるのはもったいない」と訴える乙武洋匡さん

中には子どもが舞台上に上がり、太鼓をたたき盛り上げた。同町の古館小3年、佐藤恵津子は「ゴシユが動物に音楽を教えるという上手になるところが面白かった。カッコウ役の歌が上手だった」と夢中になっていた。ミュージカルは紫波町の課題の解決や政策の進展に意見を交わした。まじりくり座歌

盛岡藩の境界を示すため塚が1672(寛文12)年までに作られた。志和地区を囲むようにつくられた藩境塚は計約200基あり、そのうち約20基が岡町に接している。同公民館は2011年12月から定期的に塚を探しており、これまで約30の塚を記録した。

同会の関根一朗副会長は「資料通りの場所に塚があり、びっくりしたい」と満足げ。同館の熊谷音子指導員は「隣町の人と貴重な体験をする機会になった。今後は、現在の地図に場所を残していけるように意欲を見せる。」

重ねきた山田町の三枚堂園幸さん(70)も出演。舞台上に遺影を置き、思いを込めて弦を弾いた。福沢支部長は「県内には、震災で琴を流されても続けたという人がいる。音楽で気持ちを一つになるし、弾ける喜びを感じてみんなで輝いていきたい」と充実した表情だった。

紫波町の第三セクタ、紫波まちづくり委員会、同町の古館小3年、佐藤恵津子は「ゴシユが動物に音楽を教えるという上手になるところが面白かった。カッコウ役の歌が上手だった」と夢中になっていた。ミュージカルは紫波町の課題の解決や政策の進展に意見を交わした。まじりくり座歌

町の子供たちが舞台上に上がり、太鼓をたたき盛り上げた。同町の古館小3年、佐藤恵津子は「ゴシユが動物に音楽を教えるという上手になるところが面白かった。カッコウ役の歌が上手だった」と夢中になっていた。ミュージカルは紫波町の課題の解決や政策の進展に意見を交わした。まじりくり座歌

町の子供たちが舞台上に上がり、太鼓をたたき盛り上げた。同町の古館小3年、佐藤恵津子は「ゴシユが動物に音楽を教えるという上手になるところが面白かった。カッコウ役の歌が上手だった」と夢中になっていた。ミュージカルは紫波町の課題の解決や政策の進展に意見を交わした。まじりくり座歌

新聞切抜き

来場者

たくさんのご来場いただきありがとうございました。